

【資料3-1】

学校関係者評価書

学校名 佐賀県立佐賀商業高等学校

1 学校関係者評価実施状況

(1) 学校関係者評価実施日

第3回学校評議委員会 令和2年2月21日(金) 15:00～

(2) 評価者氏名

学校評議員4名 (I様、T様、K様、N様)

(3) 資料(評価の参考とした資料)

- ・学校評議員会資料(第1～第3回)の各校務分掌の報告、成果と課題等
- ・学校アンケート(1月実施)の結果

2 評価

(1) 学校運営について

①目標の妥当性及び達成状況

- ・次の世代を担う世代の子供たちと真摯に対峙する先生方の姿を感じている。各目標の妥当性についても達成状況についてもよいと思います。(N様)
- ・妥当性であり、概ね達成できていると思います。(I様)
- ・国際社会を意識した目標を掲げられ、地方からも国際人となる人材育成に力を入れている姿勢は高く評価される。(T様)

②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・情報発信に十分努められていると思います。写真が多く掲載された学校だよりは読みやすく、楽しく拝見している。学校の活性化と情報発信について、Aという自己評価結果は適切である。(N様)
- ・適切である。(I様)
- ・教科の指導力向上の達成度がBであることについて、教員は教室にいれば、王様である。外からに刺激は己を律するためにも向上のためにも必要だと思うので、次年度は相互に授業を参観する機会をぜひ増やしてほしい。(K様)
- ・教員が多忙な中、ICT活用の技術を習得する一方、授業研究の機会が少ないとされており、客観的に自己評価されている。(T様)

③改善方策の適切さ

- ・学科の特色ある取組について、いろいろなコンテストに挑戦することは生徒にとって貴重な学びの機会になると思います。Aで適切である。(N様)
- ・適切である。(I様)
- ・働き方改革について、教員の意識やその雰囲気が出てきていることは素晴らしい。管理職が発信者となっていると想像します。(K様)

## (2) 教育活動について

### ①目標の妥当性及び達成状況

- ・参院選もあったので主権者教育の頻度についてお聞きしたが、生徒会長選挙の時に実際の投票箱を使って行っていることを知ることができた。(T様)
- ・第1回の会議の時に、人権教育についてどれくらい行っているのかをお聞きしたが、次年度も継続して行ってほしいと思います。(N様)
- ・妥当であり、達成できている。(I様)
- ・SNSに関する問題が発生したということだったので、次年度の重点目標に、SNS利用に関することを入れてはどうでしょうか。一人一人に対する人権教育の徹底をお願いしたい。(T様)
- ・心の教育について、本の貸し出し数がBということであったが、本からの「学び」は大人になってからも続くことであり、自己の進路への気づきにもなると思うので、本を読む楽しさを啓発してほしい。(K様)
- ・学力向上について、成績不振の生徒が増えていることを踏まえてBとされており、妥当と思う。(T様)

### ②学校の取組状況の適切さ及び自己評価結果の妥当性

- ・出席率が100%に近いことは素晴らしいことと思う。(N様)
- ・適切であり、妥当である。(I様)

### ③改善方策の適切さ

- ・適切である。(I様)
- ・学校図書の貸出数の大幅減少は問題と認識されており、ディスプレイの見直しや図書委員の活用を次年度はぜひ実施してほしい。(T様)
- ・「食」については専門家の話を聞く機会があってよかったと思う。(K様)

## 3 その他学校に対する意見や提言

- ・商業系の部活動を見学したが、初めて見せてもらう部活動ばかりだったので新鮮でした。校内ですれ違う子供たちの清々しさにうれしくなった。生徒たちはとてもよく頑張っていて、速記部の全国大会優勝など素晴らしいと感じた。(K様)
- ・体育系・文化系とも部活動は活発で、多くの全国入賞をして輝かしい実績を上げていることは、生徒たちに自信と誇りにつながっている。練習時間の見直しなどの改革にも取り組まれていると思うが、指導する教職員の働き方改革とも連動した取り組みとなるよう、環境づくりに目配りもお願いしたい。(T様)
- ・定時制とは校時が違うので難しいかもしれないが、定時制とコラボした取組ができればいいと思う。(I様)
- ・全日制と定時制の生徒がほとんどないというのは、外部から見ればとても意外だった。社会の多様性を知る絶好の機会であり、積極的な取組や交流の場を期待する。(T様)